

## 調査票のイメージ

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

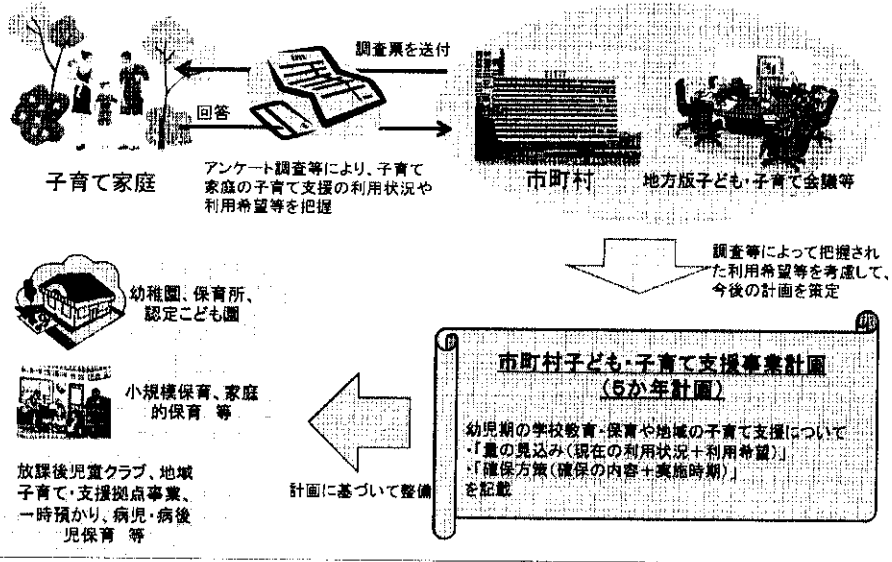
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域をお知らせください。(あてはまる番号1つに○)

1. 鎌倉（十二所、二階堂、西御門、雷ノ下、扇ガ谷、小町、大町、材木座、由比ガ浜、御成町、筈目町、佐助、長谷、坂ノ下、極楽寺、稲村ガ崎、浄明寺）
2. 腰越（腰越、津、西鎌倉、七里ガ浜東、津西、七里ガ浜）
3. 深沢（梶原、寺分、山崎、上町屋、手広、常盤、鎌倉山、笛田）
4. 大船（山ノ内、台（一丁目を除く）、小袋谷、大船、岩瀬、今泉、今泉台、高野）
5. 玉縄（台一丁目、岡本、玉縄、植木、城廻、関谷）

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(□内に数字で記入【数字は一枠に一字】)

平成 □□年 □□月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字で記入、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を記入【数字は一枠に一字】)

きょうだい数 □人 末子の生年月 平成 □□年 □□月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他( )

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他( )

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答え下さい。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 幼稚園 6. 保育所  
7. 認定こども園 8. その他( )

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお知らせください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所 5. 認定こども園  
6. その他( )

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |           |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |           |
| 5. いずれもない                          | ⇒ 問10へ    |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他( ) ⇒ 問10へ

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他( )

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる/ある ⇒ 問10-1へ      2. いない/ない ⇒ 問11へ

問10-1 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1. 祖父母等の親族          | 2. 友人や知人                                |
| 3. 近所の人             | 4. 子育て支援施設(子育て支援センター、つどいの広場、子ども会館等)・NPO |
| 5. 保健所・保健センター       | 6. 保育士                                  |
| 7. 幼稚園教諭            | 8. 民生委員・児童委員                            |
| 9. かかりつけの医師         | 10. 市の子育て関連担当窓口                         |
| 11. その他(【例】ベビーシッター) |   |

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

**宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。**

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(あてはまる番号1つに○)

- |  |            |
|--|------------|
| 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ (1)-1へ |
| 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である |            |
| 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ (2)へ   |
| 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である |            |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない                           |            |
| 6. これまで就労したことがない                                   |            |

(1)-1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字で記入[数字は一桁に一字])

1週当たり □日      1日当たり □□時間

(1)-2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字で記入[数字は一桁に一字])

家を出る時刻 □□時      帰宅時刻 □□時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 (あてはまる番号1つに○)

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
  - 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
  - 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
  - 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
  - 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
  - 6. これまで就労したことがない
- ⇒ (2)-1へ
- ⇒ 問14へ

(2)-1 (2)で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字で記入【数字は一桁に一字】）

1週当たり □日      1日当たり □□時間

(2)-2 (2)で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください（□内に数字で記入【数字は一桁に一字】）

家を出る時刻 □□時      帰宅時刻 □□時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字を記入【数字は一桁に一字】）

(1) 母親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
  - 2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったときに就労したい
  - 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
  - イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
- 1週当たり □日      1日当たり □□時間

(2) 父親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
  - 2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったときに就労したい
  - 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
  - イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
- 1週当たり □日      1日当たり □□時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（あてはまる番号1つに○）

- 1. 利用している ⇒ 問15-1へ
- 2. 利用していない ⇒ 問15-5へ

問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- |  |   |
|--|---|
| 1. 幼稚園<br>(通常の就園時間の利用)                       | 2. 幼稚園の預かり保育<br>(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)              |
| 3. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けたもの)    | 4. 認定こども園<br>(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設。鎌倉市では、鎌倉みどり学園、アワーキッズ鎌倉・大船) |
| 5. 家庭的保育<br>(育者の家庭等で子どもを保育する事業)              | 6. 事業所内保育施設<br>(企業が主に従業員用に運営する施設)                           |
| 7. 認定保育施設<br>(鎌倉市では、保育室みつばち、保育室アーモ玉縄、保育所のぞみ) | 8. その他の認可外の保育施設   |
| 9. 居宅訪問型保育<br>(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) | 10. ファミリー・サポート・センター<br>(地域住民が子どもを預かる事業)                     |
| 11. その他(幼稚園類似施設など)(名称: )                     |   |

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に具体的な数字で記入[数字は一枠に一字、時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制で記入])

(1) 現在

1週当たり □日      1日当たり □□時間 ( □□時～ □□時)

(2) 希望

1週当たり □日      1日当たり □□時間 ( □□時～ □□時)

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 鎌倉市内      2. 他の市区町村

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他( )

問 15-5 問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(      歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他( )

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- |  |  |
|--|--|
| 1. 幼稚園<br>(通常の就園時間の利用)                                 | 2. 幼稚園の預かり保育<br>(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員20人以上のもの)      | 4. 認定こども園<br>(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)              |
| 5. 小規模な保育施設<br>(国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね6～19人のもの) | 6. 家庭的保育<br>(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)          |
| 7. 事業所内保育施設<br>(企業が主に従業員用に運営する施設)                      | 8. 認証・認定保育施設<br>(認可保育所ではないが、市が認証・認定した施設)       |
| 9. その他の認可外の保育施設  | 10. 居宅訪問型保育<br>(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)  |
| 11. ファミリー・サポート・センター<br>(地域住民が子どもを預かる事業)                | 12. その他( )                                     |

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまる番号いずれかに○)

1. 鎌倉市内      2. 他の市区町村

### 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」や「つどいの広場」(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)を利用していますか。

次の中から、利用されているものをお知らせください。(あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字で記入[数字は一枠に一字])

1. 利用している  
1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度
2. 利用していない

問 18 問 17のような事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(あてはまる番号一つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字で記入[数字は一枠に一字])

1. 利用していないが、今後利用したい  
1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
1週当たり 更に □回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
①両親学級(こんにちば赤ちゃん教室)、育児教室(まんま♡る～ぶ、いい歯にっこりスクール)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②乳幼児健康相談(抱っこdeシャベル)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③育児支援(親子ふれあいセミナー)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子どもと家庭の相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦市発行の子育て支援情報誌(かまから子育てナビきらきら)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。(それぞれにつき、あてはまる番号1つに○)

希望がある場合は、利用したい時間帯を、お知らせください。(例)09時～18時のように24時間制で記入[数字は一桁に一字]

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
  2. ほぼ毎週利用したい
  3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
  2. ほぼ毎週利用したい
  3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

問20-1 問20の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他( )

問21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をお知らせください。(例)09時～18時のように24時間制で記入[数字は一桁に一字]

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
  2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
  3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

問21-1 問21で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他( )

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。  
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問15で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃる方は、問23にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(いずれか1つに○)

1. あった ⇒ 問22-1へ
2. なかった ⇒ 問23へ

問22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお知らせください。(あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字で記入(半日程度の対応の場合も1日とカウント)[数字は一桁に一字])

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□日
イ. 母親が休んだ	□□日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	□□日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□日
カ. ベビーシッターを利用した	□□日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□日
ケ. その他( )	□□日

⇒ 問22-2へ

⇒ 問22-5へ

問 22-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。  
 (あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字で記入[数字は一律に一字])  
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□日 ⇒ 問 22-3 へ  
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業  
 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業  
 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)  
 4. その他( )  
 ⇒ 問 23 へ

問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由をお知らせください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安  
 2. 地域の事業の質に不安がある  
 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)が良くない  
 4. 利用料がかかる・高い  
 5. 利用料がわからない  
 6. 親が仕事を休んで対応する  
 7. その他( )  
 ⇒ 問 23 へ

問 22-1 で「ウ」から「ク」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。  
 (あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数についても数字で記入[数字は一律に一字])

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □□日 ⇒ 問 23 へ  
 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 22-6 へ

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは考えられない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由をお知らせください(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない  
 2. 自営業なので休めない  
 3. 休暇日数が足りないので休めない  
 4. その他( )

**宛名のお子さんの不規則の教育・保育事業や、  
 宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。  
 (あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字で記入[数字は一律に一字])

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□□日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ)	□□日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□□日
4. 夜間看護等事業: ショートステイ (児童看護施設等で一時的に子どもを養育・保護する事業)	□□日
5. ベビーシッター	□□日
6. その他( )	□□日
7. 利用していない	

⇒ 問 24 へ

問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない  
 2. 利用したい事業が地域にない  
 3. 地域の事業の質に不安がある  
 4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)が良くない  
 5. 利用料がかかる・高い  
 6. 利用料がわからない  
 7. 自分が事業の対象者になるのかどうか  
 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない  
 9. その他( )

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか。(あてはまる番号どちらか1つに○)

利用したい方は、利用目的をお答えください。(あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な日数を、目的それぞれにつき、□内に数字で記入【数字は一桁に一字】)

なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □□ 日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	□□ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	□□ 日
ウ. 不定期の就労	□□ 日
エ. その他( )	□□ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ	

問 24-1 へ

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他( )

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りかけて家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。預け先が見つからなかった場合も含みます。(どちらか1つに○)

あった場合は、この1年間、どのように対処しましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字で記入【数字は一桁に一字】)

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□□ 泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	□□ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	カ. その他( )	□□ 泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

## 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問 30 へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入。また、「子どもの家」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字で記入。時間は必ず(例)18時のように24時間制で記入【数字は一桁に一字】)

「子どもの家」…放課後児童クラブ(学童保育)のこと。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 □ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 □ 日くらい
4. 子ども会館 ※1	週 □ 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 □ 日くらい
6. 子どもの家(放課後児童クラブ・学童保育)	週 □ 日くらい → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 □ 日くらい

※1 子ども会館に併設している子どもの家を利用を希望する場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々との協力を得て、放課後や週末に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます(稲村ケ崎小学校で実施)。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字で記入。また、「子どもの家」の場合には利用を希望する時間も□内に数字で記入。時間は、必ず(例)18時のように24時間制で記入【数字は一桁に一字】)

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 □ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 □ 日くらい
4. 子ども会館 ※	週 □ 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 □ 日くらい
6. 子どもの家(放課後児童クラブ・学童保育)	週 □ 日くらい → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 □ 日くらい

※ 子ども会館に併設している子どもの家の利用を希望する場合は「6.」に回答



問 28 問 26 または 問 27 で「6. 子どもの家（放課後児童クラブ・学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、子どもの家の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（(1) (2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯を、□内に(例) 09時～18時 のように24時間制で記入[数字は一枠に一字]

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の子どもの家の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（あてはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯を、□内に(例) 09時～18時 のように24時間制で記入[数字は一枠に一字]

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など  
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（母親、父親それぞれにつき、あてはまる番号1つに○）  
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない
⇒	⇒
取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他( )

問30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30 で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1) (2)それぞれにつき、あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1) (2)それぞれにつき、どちらか1つに○)

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

((1)(2)それぞれにつき、□内に数字で記入[数字は一枠に一字])。

(1) 母親

実際の取得期間	□ 歳 □□ か月	希望	□ 歳 □□ か月
---------	-----------	----	-----------

(2) 父親

実際の取得期間	□ 歳 □□ か月	希望	□ 歳 □□ か月
---------	-----------	----	-----------

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。(□内に数字で記入 数字は一桁に一字)。

(1) 母親

歳  か月

(2) 父親

歳  か月

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

①母親

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )             |                         |

②父親

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )             |                         |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

①母親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 ( )            |                           |

②父親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 ( )            |                           |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問 30-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

(あてはまる理由すべてに○)

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ( )

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ( )

問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

((1)(2)それぞれにつき、どちらか1つに○)

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい      2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい      2. 1歳になる前に復帰したい

問31 お住まいの地域（冒頭お答えいただいた鎌倉、腰越、深沢、大船、玉縄の5地域）における子育ての環境や支援への満足度についてお知らせください。（あてはまる番号1つに○）

満足度が低い ←————→ 満足度が高い  
1      2      3      4      5

**その他、子育てについてのお考え等に関してもお答えください。**

問32 あなたは、子どもを育てている現在の生活に満足していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 満足している      2. どちらかといえば満足している  
3. どちらともいえない      4. どちらかといえば満足していない  
5. 満足していない

問33 「子どもを産み育てることを、今の社会は十分に評価していると思いますか。（あてはまる番号1つに○）

1. そう思う      2. どちらかといえばそう思う  
3. どちらともいえない      4. どちらかといえばそう思わない  
5. そう思わない

問34 あなたは、鎌倉市の子育て支援策（子育て相談支援、保育園整備、小児医療費助成など）が充実していると思いますか。（あてはまる番号1つに○）

1. そう思う      2. どちらかといえばそう思う  
3. どちらともいえない      4. どちらかといえばそう思わない  
5. そう思わない

問35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....  
.....  
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。